

## 第1回 樋橋地区まちづくり推進委員会 議事録【要約】

開催日時 平成28年8月2日（火）  
午後3時30分～午後5時10分  
開催場所 佐久消防署 3階講堂

### 【会議次第】

1 開 会

2 委嘱書交付

3 市長あいさつ

4 要領説明

5 委員自己紹介

6 会長・副会長選出

委員互選により白井委員を会長、山本委員を副会長に選出。

7 会議事項

(1) 会議進行役の紹介

信州大学 経法学部 准教授 武者忠彦氏

(2) 樋橋地区土地区画整理事業の経過と現状説明

別途資料により事務局が説明

(3) 経過と現状説明を受けて

進行役よりの講話

ショッピングモールの成り立ちについて（建設件数やロードサイドとモールの違い）

市町村人口規模と出店面積について（必ずしも比例せず、広域的マーケットで捉えている）

都市の商圈人口推移について（行政区域を越え、都市間で競争する時代となっている）

樋橋地区へのイオン出店申込について（手続き的に問題ない、大切なのは「まちづくりのビジョン」）

組合施行の土地区画整理事業について（事業破綻しないことが前提、成立のプランニングが必須）

持続可能なまちづくりについて（多様な機能の必要性和官民連携によるまちづくりが重要）

(委員)

樋橋地区が佐久市を牽引するような土地利用には賛成。

30年先後まで持続可能な街にしていくための、まちづくりのビジョンの創り方は？

(進行役)

基本的には街づくりのワークショップであるとか、専門のコンサルをつける等、色々の方法がある。

(委員)

大型商業施設は軽井沢のアウトレットとは競合していくのか？  
既存のイオンもあるし、商店街もあり心配している人も多い。  
総合的に佐久の中でのことを考えれば、賛成。

(進行役)

イオンが出店意思の表明は、裏を返せば佐久平に市場開拓の余地があるとの判断だろう。  
軽井沢のアウトレットと佐久平のイオンは客層が違っているとらえていると思う。  
ショッピングモールが過当競争に入った時の、撤退時のリスクも考えていく必要もある。

(委員)

今回の話のどこまでが決定で、どこまで決めていくか分からない。  
また、既存のイオンがどうなるか教えてほしい。

(進行役)

土地区画整理地区内の「地区計画」への提言を推進委員会で目的としていく。  
既存のイオンについては、既存があってそこからの拡張と聞いている。

(委員)

佐久平駅の土地区画整理事業は、全国的に見ても成功例。イオンだけでなく、様々な店舗の出店による多様性ができて成功している。  
今回は、組合施行の土地区画整理事業であるのだから、失敗は許されない。  
成功に結び付けるため、行政の支援とまちの核が必要。多様なものを見据えながら、なにを持っていくかを考えたまちづくりが重要。

(委員)

官民一体となったまちづくりのビジョンになるとすれば、定住人口を増やすのか、商業人口を増やすのか、潜在的な強みの分析をして、たたき台を作り、意見を言えていければ良い。  
よりよい佐久市になる目標を掲げるのであれば、佐久市を外から見て、中から見て、感じていくべきではないかと思う。

(進行役)

今回の樋橋は、様々な人から知恵を借りて、成功できるビジョンを創っていければと思う。

(4) 第2回会議の開催について

(事務局)

本委員会は1か月から1か月半に一度のペースで開催したい。